

【記載説明】

クロスチェック結果表（一般生菌数）の記載について

右欄のクロスチェック結果表の記載欄番号の記載について、以下とおりです。

I. 評価試料到着時の記録

- ① **社名**：参加申込書に記載した会社名を記載して下さい。
- ② **到着日**（"/" の半角数字表示）：配布試料が到着した月日を記載して下さい。
- ③ **時刻**（デジタル表示）：配布試料が到着した時刻を記載して下さい。
- ④ **試料数**（半角数字にて表示）：手元に届いた配布試料の数を記載して下さい
- ⑤ **到着直後の梱包した箱の内部温度**（小数点第一位、半角数字にて表示）：参加説明書にて測定した内部温度を記載して下さい。
- ⑥ **検査開始までの評価試料保管条件**：配布試料の保管条件を記載して下さい（例：冷蔵保管、常温保管、7.0℃にて保管など）。また保管温度がわかっている場合は、その温度（小数点第一位）も記載して下さい

II. 一般生菌数の検査結果

- ⑦ **検査回数**（半角数字）：1人で何回繰返し検査を実施したか、回数を記載して下さい
- ⑧ **実施者**：検査の実施者を記載して下さい。なお、技能評価証の発行を希望する場合は実名を記載して下さい。
- ⑨ **検査法**（検査法選択）：一般生菌数の検査法を選択して下さい
- ⑩ **備考欄**：検査に際して、記載すべき情報などがあれば、記載をして下さい。
- ⑪ **評価試料番号**（任意）：検査時に滅菌シャーレ或いは寒天平板培地などに付けた配布試料の番号を記載して下さい。場合によっては空白でも結構です。

\*2つ以上の配布試料を送った際、どちらの試料を使って検査を行ったか把握するためのものです。

- ⑫ **検体採取量**（小数点第一位、半角数字にて表示）：配布試料から採取した量を記載して下さい。
- ⑬ **検体+希釈液の合計量**（小数点第一位、半角数字にて表示）：配布試料採取後、希釈液を加えた量を記載して下さい。
- ⑭ **検査開始日**（"/" の半角数字表示）：細菌検査を始めた月日を記載して下さい
- ⑮ **操作開始時間**（デジタル表示）：配布試料の封を切り、10gを採取した時刻
- ⑯ **操作終了時間**（デジタル表示）：試料液が入ったシャーレに培地を注ぎ入れた時刻
- ⑰ **培養開始時間**（デジタル表示）：寒天平板培地等を恒温培養器に入れた時刻
- ⑱ **検査終了日**（"/" の半角数字表示）：細菌検査が終わった月日を記載して下さい
- ⑲ **培養終了時間**（デジタル表示）：寒天平板培地等を恒温培養器から出した時刻

【記入例】クロスチェック結果表（一般生菌数：1回目）

- (1) お手数ですが、1回検査ごとに本結果表のシートをコピーして使って下さい。
- (2) 太枠内に記入をお願いします。

I. 評価試料到着時の記録（検査初回のみ記載して下さい）

1. 社名

① ▲@マーク(株)
------------

2. 評価試料到着日と時刻

到着日 ②	1/29	時刻 ③	10:30	試料数 (選択) ④	3	個
-------	------	------	-------	------------	---	---

3. 到着直後の評価試料の取扱い

到着直後の梱包した箱の内部温度	⑤ 12.8	℃	検査開始までの評価試料保管条件 (選択) ⑥	常温	℃(任意)
-----------------	--------	---	------------------------	----	-------

II. 一般生菌数の検査結果

今回、一般生菌数の検査は繰返し ⑦ 3 回、検査を行いました。

1. 結果

(1) 実施者および検査法

実施者 ⑧	沢渡	検査法 (選択) (その他記載欄) ⑨	2. 平板塗沫
-------	----	---------------------	---------

⑩
---

(2) 検査に関する記録

評価試料番号 (任意) ⑪	M901	
試料液	⑫ 検体採取量	10.5 g
	⑬ 検体+希釈液の合計量	106.0 g
検査開始日	⑭ 開始日 (月日)	1/29
	⑮ 操作開始時間 (時分)	9:00
	⑯ 操作終了時間 (時分)	10:30
検査終了日	⑰ 培養開始時間 (時分)	10:45
	⑱ 培養終了日 (月日)	1/30
	⑲ 培養終了時間 (時分)	11:00

\* 検体の中身を取り出し、10gを採取した時刻  
 \* 培地を試料液が入ったシャーレに注ぎ終わった時刻  
 \* 培養器に寒天平板培地等を入れ始めた時刻  
 \* 培養器から寒天平板培地等を取り出した時刻

⑳ 一般生菌数の結果 (半角英数字にて表示) : 計算式で算出した 1g 当りの一般生菌数を記載して下さい。(表示は『13,000,000』或いは『1.3E+07』の半角にて記載)

21 計算式: 検出した一般生菌数のコロニー数から左の一般生菌数の値に至った計算式を記載して下さい。

III. 一般生菌数の結果に至った菌数の算定式

22 寒天平板培地上に検出したコロニー数: 該当する希釈倍率に対して、試料液を注入した量および寒天平板培地上に検出したコロニーの数を記載して下さい。

(3) 一般生菌数の検査結果

一般生菌数の結果 ㉓ *有効数字2ケタに丸めた数値(半角)を記載して下さい 例1) 13,000,000 例2) 1.3E+07	<b>1.5E+07</b> 個/g	㉔ 計算式:	$\frac{(160+140)}{2} \times 100,000 = 15,000,000$
---	--------------------	-----------	---

[一般生菌数の結果に至った菌数の算定式]

\* 1 算定式の記述については未入力でも構いませんが、研究会として結果の評価・分析の為、記載頂ければ幸いです。

\* 2 以下の表で書きにくい場合は、自社の検査記録をPDFにしてメール添付しても構いません。

①結果 (寒天平板培地上に検出したコロニー数)

希釈倍率 ㉕	シャーレへの注入量/mL	1 枚目	2 枚目	備考欄
1.0E+01	1.0000	> 300	> 300	
1.0E+02	1.0000	> 300	> 300	
1.0E+03	1.0000	> 300	> 300	
1.0E+04	1.0000	> 300	> 300	
1.0E+05	1.0000	160	140	
1.0E+06	1.0000	15	14	
1.0E+07				